

みどりの線路

—阪和線高架化跡地の緑道化計画—

阪和線：

天王寺駅から和歌山駅を結ぶ路線である。

このうち天王寺、美章園、南田辺、鶴ヶ丘、長居、我孫子町、杉本町が大阪市内にある。

美章園—南田辺間の線路西には桃ヶ池公園があり、南田辺—鶴ヶ丘間には長池公園、さらに鶴ヶ丘から長居へ向かう線路の東側には巨大な長居公園があるなど周辺に緑が多い。

また杉本町は大阪市立大学の最寄駅であり、杉本町、我孫子町周辺には学生が多く住んでいる。

JR 阪和線では、交通渋滞の緩和や踏切事故の減少を目的として天王寺駅～杉本町駅間の高架化工事が行われ、2006年に工事は完了している。

線路跡地は2～3kmに渡るが、一部を除きその多くの部分がアスファルトに覆われ、フェンスに囲まれ、何にも利用されないまま遊休地化している。



線路跡地活用の事例



周辺は戸建て住宅が立ち並んでいるところもある



ヒートアイランド現象とは

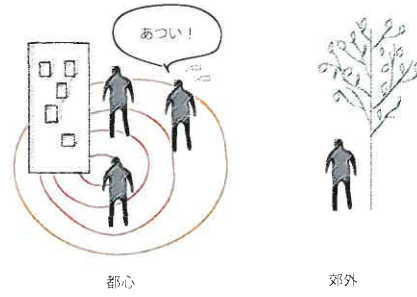
都市部の気温が周辺の郊外地域よりも高くなる現象のことである。都市部の高温地帯が島状の形をしていることからこのように呼ばれる。また都市部では日較差が少なく、夜でも気温が高くなる。

原因

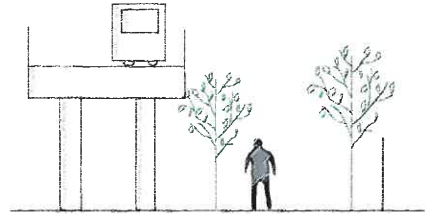
- ・緑地や水面などの減少とアスファルトの増大による地表面被覆の人工化
- ・オフィスや住宅等の建物からの排熱や自動車からの排熱による人工排熱の増加影響
- ・猛暑や熱帯夜、熱中症の発症を助長
- ・ゲリラ豪雨等の異常気象

本計画では、線路跡地を緑あふれる緑道として整備する。長居駅より北側には長居公園、長池公園、桃ヶ池公園があり緑が多い一方で、長居駅より南側にはそのような公園は少ないのが現状である。(計画地は長居駅から杉本町駅に続く線路跡地とする。?) 敷地は高架化された線路に沿って2km程続く細長い形状をしている(東西に走る道路で分断されている場所もある)。

- ・緑地の増加による、ヒートアイランド現象の緩和
- ・地域住民の健康増進、介護予防等の効果が期待できる。



緑地や水面の少ない都心は暑い



現状アスファルトで覆われている線路跡地を緑道にフェンスをなくし、誰もが活用できる空間へ



イメージパース

計画の概要

敷地：阪和線高架跡地
用途：緑道の造成



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

- 緑道のイメージ：
- ①走りたくなる緑道
 - ②水辺で憩う
 - ③秋は大きな木の下で
 - ④緑がこんなに近い
 - ⑤冬の朝は緩やかな時間
 - ⑥遊び場所

